

**【実録!】**

# おんぼろ薪ストーブ オーバーホール大作戦!

薪ストーブをつくる鑄鉄や銅板は、使っているうちに錆が出てしまったり、  
高熱で変形してしまったりする素材。  
普通の使い方でも極端に傷むことはないけれど、  
ある所には、見たこともないような傷んだストーブがあるという。  
それは、興味津々! ということで、その修理の現場に行ってきました!  
これだけの大修理、自分で真似することはできないけど、  
ストーブってこんなこともできるんだ! というのが、よく分かります。

海底から引き上げたようにも見える、と噂の、要オーバーホールなストーブが、いよいよ作業場に到着! その全貌は?



## クルマから出てきた、今回の主役!?

えっ!? きっと誰もがそんな声を出してしまうであろう衝撃。クルマから出てきたのは、正真正銘全身が錆びついて、いまにも朽ちそうな見たこともない様相の薪ストーブだった。とくに錆がひどいのは天板。なんでも、天板で直火焼きが行われることもあったらしい。海賊船の亡霊が引きあげた、宝の鉄とでもいうべきか……。通常の使用では起こり得ない傷みだ

### ここまでのお話

とても独特の使い方をされるユーザーさん所有の、一年分のひどい傷みが溜まったストーブを毎年一回のオーバーホールしているという噂を聞いたのは栃木県にあるショップ、ファイヤーワークス那須でのこと。シーズンオフになれば、そのストーブが運ばれてくるということで取材班は待機体制に入る。梅雨明け間近のある日、ついにストーブが運ばれてくるとの連絡を受けた取材班。さっそく栃木県那須へ向かった。そこで待っていたものは!? 果たして!

## 半日後には、こんな姿になってしまう……

一日目の作業を終えて、バラバラになったパーツがコレ (内部パネル類を除く)。この中から、引き続き使えるもの、使えないものに分別する



こんなに  
しちゃって、  
ホントに  
大丈夫なのか?





じゃあ、さっそく薪ストーブをバラしてみるよ

## 作業スタート

初日の作業は分解。  
錆びついたネジに苦戦！

クルマの荷室から二人掛かりで降ろした薪ストーブは、驚くべき錆をまとっていた。とくに錆のひどい天板は、指でこすると表面に浮いた鉄のかけらがポロポロと落ちるほど。作業第一日目は、このストーブをパーツのひとつひとつにまでバラし、使えるもの使えないものをチェックすること。バラすだけなら簡単なのかと思いきや、薪ストーブは鉄の箱を耐火セメントとビスで組み立ててあるため、セメントをはがさなければならぬし、緩めたいビスは錆で固着していて、ひどいものだと、ネジと本体がほとんど一体化している。もちろん、ネジの頭の溝だって消えている。果たして、このネジをどう緩め、どう抜いていくのか……。本当にストーブは蘇るのか？ 不安だらけのスタートとなった。

### ●ネジを緩める

一番はじめにしたことは、ストーブにあるすべてのネジやナットに潤滑剤をスプレーすること。ドアを外し、内側の耐火レンガなどを取り出したあと、内外すべてのネジとナットにスプレー噴射。じわじわとオイルがしみていくのが見えた。



どうにも動かない、頭をカットしたネジは、ドリルを使って削り取って取り除く。焼きつき防止にオイルを吹きながら進める



これがカットしたネジの元の姿。溝は残っているが錆がひどく、ドライバーを差し込んでまわすと、ネジの頭が崩れ出した

### サンダーでカット！



潤滑剤の効果が浸透したころ、ネジを緩める。が、どうしてもならない場合は、思い切ってネジの頭をカットする

ドアのネジにも。上は、錆び付いたネジの一例。ど、どこがネジですか？



内側のパーツを固定する部分にシュー。これを全体にくまなく行う



ネジのサイズほどのドリルで掘り進めば、ネジだった部分が、こんなふうに取り除かれる



カットしたあとはこんな感じ。このあと、別の技を使って残りの部分を取り除くことになる

### ●解体スタート

かなり頑固だった天板を留めるビスの撤去が済み、いよいよ天板を取り外す。ビスを外しても耐火セメントで固定してあるので、ゴムハンマーで叩いて少しずつ緩める。天板が外れたら、ダンパーやセラミックボックス、触媒を取り出す。

### どうなることやら……

各部のネジを緩めると同時に、溜まった灰の掃除。看板犬のジャックもなんだか不安そう



解体最終段階の風景。底と脚をバラすため、またもやネジをドリルで除去



薪の落下を防止するアンダイアンは、使用中に高温で朽ちたため、オーナーが鉄板を取り付けて代用していた。とりあえず外す

ダンパーを取り出す。高熱で焚き続けたせいで、全体が歪み、きちんと閉まらなくなっていた。



ゴムハンマーで下から叩いて、耐火セメントを緩める。錆で朽ちそうな天板なので、錆で朽ちそうな天板なので、一杯叩くのははかばかされる



セラミックボックスと触媒も取り出す。触媒は汚れてはいないが意外に歪みはない。あまり使わず焚いていたと思われる

グイっという感じで天板を取り外す。くだけた耐火セメントがポロポロと落ちて、なんだかストーブが壊れるような不安が……



### ●箱の部分を大分解

あとは、ネジを緩めるまたは除去、ハンマーで叩きながらパーツを外す、の繰り返し。レンチで簡単に緩むナットもあって、それに当たると、なんだかラッキーな気分。本体は天板、左右の側板、前後ろの板、底と脚でできているので、ひとつずつバラしていく。



その後、背面の板とパーツも取り外し、最後は前板。さらに、脚の一本まで分解して、一日の終わりに右ページのような姿となった



もう一方の側板も無事分解。錆の具合や歪みもチェックしておく。分解前には側面のハンドルも取り外した



ナットを外しても外れない場合は、耐火セメントの効果。ハンマーで叩いて少しずつ外していく



内側に数カ所あるナットを緩める。すぐに緩めばラッキー、無理ならスプレー噴射、無理ならカット&ドリルとなる



片側の側板を分解。耐火セメントはほとんど焼けていたので、比較的、楽に外れた



あれから1カ月。  
いよいよ今日は  
組み立て作業と  
まいりましょうか!

1 カ月後

ついに組み立て当日。  
薪ストーブは蘇るのか?

解体作業から1カ月、あのあと  
パーツのひとつひとつをチエック  
して、ボルト1本に至るまで使え  
るものと使えないものに分別。使  
えないと判断されたパーツをメー  
カーに注文。海外からのパーツ到  
着を待つ間に、使えらと判断され  
たパーツの掃除を開始した。基本  
の作業は、朽ちた耐火セメントや  
錆を落とし、サンダーで全体を磨  
いて表面を整える、パーツによっ  
てはガスケットを交換、塗装して  
さらにオイルで磨く……という内  
容。内部のパーツは塗装はせずに  
錆と汚れを落とすのみ。そうこう  
しているうちにパーツも全部到着  
した。梅雨はとうに明け、世間が  
夏休みに突入したとある日、いよ  
いよおんぼろ薪ストーブが生まれ  
変わる!!!

### ●パーツがそろった!

新品と交換することになったのは、朽ちたネジ類一式、天板、灰受け、  
煙突接続パーツ、フロントのパネルとアンダイヤン、ハンドル、サーモ  
スタッドなどなど。新しいパーツは、当たり前だけどピカピカの新品で、取  
り外した古いパーツと並べると、同じものには見えないものも……。

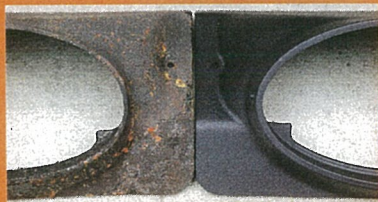
確認は  
大事です



大量にあるネジ類の使用箇所を、図面を見て再チエック。組み立てはセメントで固定してしまうので、間違いは許されないのだ!



新旧の灰受け皿。古いものは熱ですっかり変形。大きさままで変わってしまったように見える

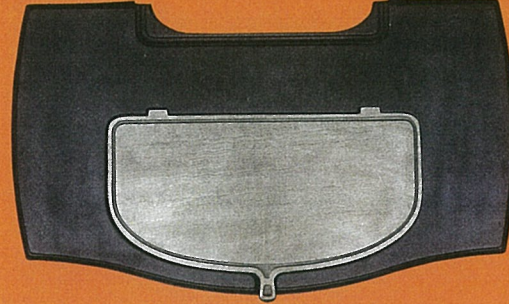


煙突接続パーツもこの通り。おわかりと思うが、左が古いパーツ。驚くべき、この変わりよう



これはネジ類。部位によって形とサイズが違うので、同じものごとに小分けして届けてもらった

新しく届いたパーツの一部。中にはアメリカから飛行機に乗って届いたものもある



今回一番の大物交換パーツがコレ。天板だ!

### ●ネジ穴をつくる

すっかり固着したネジをドリルでこじ開けたところは、ネジ山(メス)がなくなって新しいネジが留まらない。そこで、そうした部分には新しいネジ穴をつくってやらなければならない。この作業をダメになったネジ穴すべてに行う。



ネジ頭がダメになってカットした残りの部分。ここに新たなネジ穴をつくる

まずは残った先端をカットして、表面を平らに整える

ボンチで中心をマークしてから細めのドリルで穴をあけ、タップをねじ込むと穴の内側にネジ山が完成する

カット後。これでは、新しいネジは入りません。ネジ穴をつくらねば



### ●錆を落として再塗装

撮影用に汚いまま残しておいてくれた最後のパーツで、磨きの作業を確認。部位はドアの付く前面板。汚れとセメントと錆を落とし、サンダーで磨くと、それだけでも表面がツルツルになって見違えるようにきれいになる。さらに塗装してオイルで磨くと……驚くことなかれ、あの錆びついた鉄くず(?)が、新品のように蘇ったのだ!



塗装がすっかり乾いたら、オイルで磨いて艶を出す。もう新品同様 nearby

サンダーのあとラッカーで全体を拭き取り、耐熱スプレーを遠めから吹きつける。

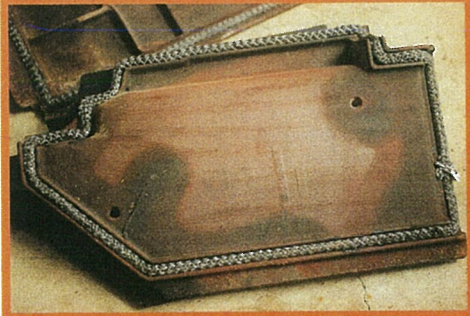
全体をサンダーで磨く。鉄の粉が舞い口の中がすっかり鉄の風味に……

内側にこびりついた耐火セメントを取り除く。固まった灰もこびりついている

ドライバーとハンマーでコツコツ

### ●ガスケットも交換

薪ストーブのパーツの内側には、密閉性を高めるためのガスケットがついている。当然、今回のストーブではガスケットもぼろぼろになっていたの、全部新しいものに交換した。古いものとセメントを除き、新たに耐火セメントで貼り付けていく作業だ。

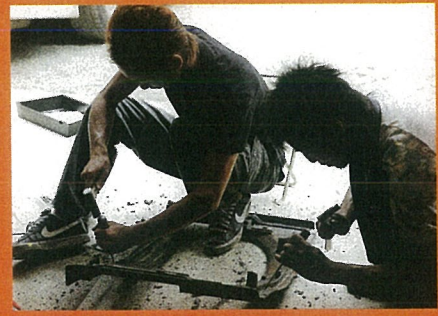


汚れと錆を落としたあと、新しいガスケットを装着した



変化を確認するため、半分だけ磨いたのがコレ

近づいてみると…この変わりっぷり!



ふたり掛かりでセメント落とし。結構細かく、根気のいる作業



新しくなった煙突接続パーツも取り付け完了!



背面、側面、前面の順で箱の組み立て。完成間近!のころ

だんだん  
ストーブらしく  
なってきたぞ



ついに天板の装着。新品の天板を位置を確認しながら載せる



ここまで  
来た!

早送り

●下から順に組み立てる

組み立ての手順は分解の逆。下から順に耐火セメントを塗って組み立てていく。セメントが乾いてしまうので、この作業は素早さが勝負。次に使うパーツに一人がセメントを塗って、一人が組み立てるといった手順で、さくさくと組み立てが進んでいく。



底の次は4枚の板を順に取り付け。正しい位置に立てたらホルドで固定する



溝に沿ってセメントをたっぷり塗る



給気口のふたとサーモスタッドを取り付け



その間、次のパーツにセメントを塗っておく



上に乗るパーツを載せて、ホルドを締める

●ラストスパート、小物の取り付け

見た目はすっかり薪ストーブの形に戻ったところで、最後はハンドルなどのパーツを取り付ける。給気口のハンドルはサーモスタッドと接続、反対側はダンパーと接続。開閉具合を確認したら、最後にドアを取りつけた!



最後にドアを装着したら、もしや、完成? お疲れさま!?



焼けたりネジがダメになったハンドルもすべて新品に交換

給気口のハンドルの取り付け完了

こうして、4枚の板を立ち上げ箱型を完成させたあと、触媒や内部パネル、ダンパーなど内部に取りつけた

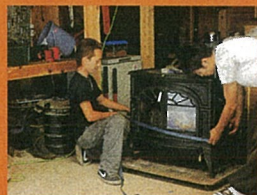
見よっつっつ!  
これが生まれ変わったストーブだ!  
新品みたいに见えます。



オーバーホールを見せてくれたのは、ファイヤーワークス那須の宮脇さんと黒子さん。どうもありがとうございました! 正しい知識と技術が必要な作業なので一般ユーザーの皆さんは真似しないでくださいね!



これで完了と思いきや、またまた作業場奥へストーブを運ぶふたり……なに?



実はこれから一週間ほどはセメント乾燥のための養生期間。本体をガッチャと呼ばれる紐で締め込んで、本当の完成のときを待つのだ

よくやったな



コレは、不要になった小さなパーツ類。見事な錆びっぷり



来たときにはデコボコで赤茶色だったおんぼろ薪ストーブ。いまではツルツルで真っ黒の、男前になりました! 新品の天板はもちろんだけど、サイドもくっきり黒。ヒカヒカのハンドルがつけば、まるで新品同様、お見事です!

薪ストーブ専門店としての誇りと自覚 安心・安全・責任施工のプロショップです

# Team Fireworks

私たちチームファイヤーワークスは薪ストーブの販売、設置、アフターメンテナンス、薪の手配等、豊富な経験と知識をもとに、薪ストーブライフには欠かせないサービスを提供しています。



## (有)ファイヤーワークス北関東

正規輸入品の薪ストーブが常時25台以上展示  
実演機もごさいます。遊びに来て使いやすさを  
実感してください



私は便利に使える薪ストーブが大好きです。  
薪ストーブは不便と思われがちですが、簡単に  
扱えるストーブが数多く有ります。この暖かさを日常生活の中で手軽に  
使える事を大切に考え、永く付き合えるストーブを提案します。



### SHOP DATA

栃木県宇都宮市徳次郎町2  
TEL:028-665-9750  
FAX:028-665-9755  
営業時間:AM9:00~PM  
定休日:火曜日、祝日  
<http://www.fire-work>  
E-mail:info@fire-work



## ストーブショップ ファイヤーゾーン

群馬県を中心として埼玉県  
北部・栃木県南部まで施工



### SHOP DATA

群馬県伊勢崎市茂呂町1-4  
TEL:0270-22-1811  
FAX:0270-22-2311  
営業時間:AM9:00~PM  
定休日:水曜日  
<http://firezone.blog27.fc>  
0265-82-4676

<https://firesidestove.com> 020-46-9877



## ファイヤーワークス那須

日々の暮らしのパートナー  
那須の自然と暖かい薪ストーブ

薪ストーブとガスストーブを扱う専門店ならではの  
ベストプライス。メンテナンスから薪の手配  
まで何でも相談にのります。ストーブの暖かさを実感できるショールームで  
炎の魅力を味わってみて!! 随時薪割り体験も開催。  
[fireworks.nasu.com](http://fireworks.nasu.com)



### SHOP DATA

栃木県那須郡那須町高久乙  
TEL:0287-78-7633  
FAX:0287-78-7634  
営業時間:AM8:00~PM  
定休日:水曜日  
<http://www.17plala.or.jp/>  
E-mail:yasug1@yahoo.



## ヤマチインテリア

確かな技術でサポートします

見積り相談無料、内装制限告示内容に基づく安全設置施工、ストーブ  
本体から煙道メンテナンスまで対応。薪ストーブ  
料理や、薪作りイベント、メンテナンス講習会なども  
行っております。薪、原木などの販売も承ります。



### SHOP DATA

群馬県沼田市鍛冶町3931  
TEL:0278-22-7733  
FAX:0278-22-7713  
営業時間:AM8:00~PM  
定休日:火曜日  
E-mail:i\_yamachi@ybt



## FIRE STUDIO (ファイヤースタジオ)

一人一人にあった炎を  
提案させていただきます

青森県弘前市を中心に薪ストーブの設置工事、  
メンテナンスをおこなっております。ご相談だけでも  
お気軽にお問合せください。



### SHOP DATA

青森県弘前市外崎5-8-2  
TEL:0172-27-6212  
FAX:0172-27-6248  
営業時間:AM8:00~PM  
定休日:日曜日(予約可)  
<http://www.firestudio>  
E-mail:j-abo@firestud



## Stove & House タケミ産業(株)

東松山(埼玉)の薪ストーブ屋さん  
いろいろ相談できる気さくなスタッフが  
お待ちしております

事務所&ショールームでアンコール実演しています。  
実際にストーブに暖まって体験してください。

### SHOP DATA

埼玉県東松山松山町2-7-4  
TEL:0493-23-2334  
FAX:0493-23-2567  
営業時間:AM9:00~PM  
定休日:水曜日、祝日(予  
<http://stove.boy.jp>

薪ストーブのことなら、安心・安全・責任施工の私たちにお任せください ★巻末のショップガイドにも各社の情報がごさいます。